

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	令和6年8月8日(木) 14:00 ~
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階 講堂
4 公開・非公開の別	(<u>公開</u>) ・ 非 公 開)
5 非公開理由 (非公開の場合のみ)	
6 出席者	委員 12 名、事務局 13 名
7 傍聴人数 (公開の場合のみ)	2 名
8 議題及び審議概要	<p>第1号案件 地域医療支援病院業務報告について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和6年度の実績報告(4-6月分) <p>第2号案件 市立岸和田市民病院からのご案内</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 人事について ・ 放射線治療機器更新に伴う停止について ・ 第5回泉州岸和田地域連携フォーラムのご案内 ・ 緩和ケアチーム相談窓口開設日変更のご案内 ・ 緩和サポートセミナーのご案内 ・ 虚血肢治療勉強会のご案内 <p>【議事概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 開会 2. 第1号案件 地域医療支援病院業務報告について 令和6年度の実績報告(4-6月分)について事務局より報告。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

3. 第2号案件 市立岸和田市民病院からのご案内

①委員より、人事について報告。

②事務局より、放射線治療機器停止について報告。

現在の機器がサポートエンドを迎える。9月より新規受け入れ制限を開始、当院で治療中の患者さんについては近隣医療機関へ紹介予定。更新作業が終了し受け入れ準備が整い次第、順次新規受け入れを再開予定。地域連携ニュースにて、地域医療機関へ広報予定。

③事務局より、第5回泉州岸和田地域連携フォーラムの報告。

④事務局より、緩和ケアチーム相談窓口開設日変更の報告。

⑤事務局より、緩和サポートセミナーの報告。

⑥事務局より、虚血肢治療勉強会の報告。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

委員長：放射線治療機器の更新について、どのくらいの費用が必要だったか。

委員：更新費用は約6億円程度。サポートエンドを迎え、より高性能な、病変だけをターゲットにする、患者さん負担の少ない機器に変更予定。更新期間中について、先に放射線治療を実施している近隣の地域医療機関へ依頼しており、出来るだけ患者さんの不便を減らせるよう努める。

委員長：本報告についてご意見ご質問はないか。

各委員：なし

委員長：ご意見なしということで、本案件を終了する。

4. その他

委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。

委員：市立岸和田市民病院が独立行政法人化を目指していることについて、岸和田市内で署名活動が行われており、「今の公立病院体制のままで良いのではないか」「組織改革によりサービスが低下するのではないか」といった内容であるらしい。行政・議会が対

	<p>応していくと思われるが、病院事務局としてはどのような対応をするか。</p> <p>事務局：そのような会が結成され、活動されていると聞いている。前回までの会議で説明の通り、独立行政法人化によって市から離れることはなく、市が出資する病院に変わりはない。また前回の委員会で院長も述べていたように、市民へ提供するサービスが低下することもない。働き方改革で難渋している人材確保について、今までの公務員としての型にはめる採用では対応できなかった、柔軟な採用を行いたいと考えている。結成された会が懸念されているサービスの低下が起こらないよう健全な病院運営を目指し、独立行政法人化を検討していることを、市民へ発信していく必要があるだろうと承知しているが、独立行政法人化は決定事項ではないので、現在は病院から市民に向けて強く発信できないというジレンマがある。委員の皆さんのところにも、市民の声が届くことがあると思うが、よろしければ病院の思いを届けてもらえればありがたい。</p> <p>委員長：基本的に今と変わらないサービス体制での独立行政法人化を目指しており、事務局も様々な対応に頭を悩ませているところだと思うが、市民の不安解消のためにも挫けず頑張っていただきたい。</p> <p>委員：承知した。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：救急搬送患者数の報告が6月末までであったため、消防長に尋ねる。7月梅雨明けから暑い日が続く中、岸和田消防署の感覚として、熱中症の搬送患者さんは増加しているか。</p> <p>委員：増加している。熱中症はもちろん、新型コロナウイルス感染症の搬送も増加している。毎年この時期に救急要請が増加する傾向ではあるが、前年を上回るペースで増えている状況である。</p> <p>委員：現在、町会連合会で意見を集約中。別途、然るべき会議で相談させていただきたい。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：案件(2)で医療従事者向けの勉強会の開催予定報</p>
--	--

	<p>告を聞き、市民病院の職員が研鑽を多く積もうとされていることに感心した。</p> <p>市内のクリニックの産科部門が閉診になるので、市民病院の産科の充実を求める。</p> <p>市民が安心できるよう、総合病院として益々確立してほしい。</p> <p>本日、会議前の病院内で、看護師等職員が患者さんへ丁寧な対応をしているのを見て、忙しい中ありがたいことだと感じた。是非処遇改善を検討していただきたい。</p> <p>スマートフォンで病院ホームページを検索した際、前院長のページが残っていたので確認していただきたい。</p> <p>事務局：ホームページについては、本日中に確認し、該当箇所があれば変更処理をしておく。</p> <p>委員：お願いする。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：逆紹介率は、高い方が地域医療として良い傾向と言えるのか。</p> <p>委員：逆紹介率が高いことは、地域のかかりつけの先生から紹介された患者さんが、当院での急性期治療・専門治療を終えて、再びかかりつけ医の先生へお返しできていることを指している。あとは日常管理の状態まで元気になり、近くのかかりつけの先生へ通うことができているということで、良いことと捉えていただきたい。</p> <p>事務局：医療機関の役割分担が出来ていると捉えられる。地域の診療所で日常の管理をしていただき、必要に応じて急性期病院での専門治療を受けていただくことで、限られた人的資源を適切に配分することができる。地域医療支援病院の要件として、一定の紹介率・逆紹介率を求められており、地域の先生方とより一層連携を図りたい。</p> <p>委員：要件を満たすために無理に逆紹介をすることはあるのか。数字の報告だけでは分からない。</p> <p>委員：絶対にありえない。</p> <p>事務局：無理な逆紹介はありえない。専門的な管理が必要と認められれば、投薬だけであっても当院へ長年通院</p>
--	---

	<p>している患者さんもいる。しかし、例えば毎月の血圧管理と投薬管理だけの患者さんであれば、遠方の病院への頻回来院より、近隣にかかりつけ医を持っていただき日常管理をしていただいた方が、患者さんのためにもなると考える。現場の医師が診察の中で、引き続き当院の急性期治療・専門治療が必要か、または、かかりつけ医の日常管理的な治療が適切かを判断している。その結果、要件を満たす数字になっており、無理な逆紹介を推奨するものではない。</p> <p>委員：毎回、数字のみの報告で、何か重要で必要なことだとは思っていたが、質問できていなかった。今回の説明で承知した。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>委員：市民病院のような大きな病院を、紹介状なく受診を希望すると別料金がかかる制度が開始されているが、自身が他者に質問された際に理由を詳細に答えられないので、教示願う。</p> <p>委員：例えば岸和田徳洲会病院や市立岸和田市民病院などの大きな病院へ、とりあえず大きな病院なら安心という理由だけで受診する患者さんが多い。心理は理解できるが、国は、地域のかかりつけとなる医師が、かかりつけ医の治療が適切か、急性期・専門医療が必要かの振り分けをするべきと考えている。振り分けることにより、急性期病院で専門治療を要する患者の取りこぼしを起こさず、限られた人員で適切な医療を提供できるという考えである。紹介状とは、地域の医師が振り分けたうえで、急性期医療・専門医療を要するとして病院宛に発行している書類である。紹介状を持たずに病院受診を希望する患者が一定数存在するのは仕方ないが、かかりつけ医を持って適切な医療を受けてもらおうという考えのもとで生まれた制度であるので理解いただきたい。先ほど逆紹介の質問に対し委員が回答したように、世間話をしながら血圧管理をするような元気な患者さんは、かかりつけ医で定期的に診察を行い、必要に応じて病院と連携することで、病院にとっても患者さんにとっても利益になる。</p> <p>委員：「なぜ市民病院を受診しようとする」と高い料金を取</p>
--	---

	<p>られるのか」「かかりつけ医を持っていないと、紹介状を書いてもらうために、わざわざ近隣の診療所を受診しなければならないのか」など、制度を知らない人が多い。理由が分からず説明できなかったので、今回のことでよく理解した。</p> <p>事務局：もともと開業医が少ない地域もあるが、今まで受診することがないため近くに存在することを知らないというだけのこともある。当院ではホームページや院内ポスターで、かかりつけ医検索システムを紹介している。お手持ちのスマートフォンや、患者支援センターで印刷もしているので、上手に利用していただければと思う。</p> <p>委員長：その他の案件や、ご意見ご質問はないか。</p> <p>各委員：なし</p> <p>委員長：案件なしとのことで、これにて議事を終了する。</p> <p>事務局：令和6年度第3回委員会は令和6年11月14日(木)に開催を予定している。</p> <p>5. 閉会</p>
9 その他	